

平成30年度



白川小だより

第11号

平成31年1月30日(水)

「伝える力」を高める ～がんばった学習発表会～

校長 奥村 哲也

1月26日に行った学習発表会には、多くの皆様に応援に来ていただき誠にありがとうございました。子ども達は、これまでの練習の成果を発揮し、精一杯発表しました。いかがでしたか。

発表会に向けた練習では、元岐阜放送のアナウンサーで朗読活動に取り組んでいらっしゃる森優美子先生にお越しいただき、各学級で、読み方の指導をしていただきました。

ある教室では、児童が台詞を読んだ後、森先生が「ここでは、どんな気持ちを伝えたいの？」と質問されました。児童が「できるようになって、うれしかった気持ちです。」と答えると「それなら、言葉を句切らないで続けて読んで、言葉の終わりのところ(語尾)は少し上げて読むといいですよ。」とアドバイスをしてくれました。

何かを伝えるには、「伝える内容」と「伝える方法」が重要です。「伝える内容」については、この1年間で学んだことや味わった感動を、子ども達と担任が話し合っただけでシナリオにまとめました。森先生には、「伝える方法(読む技術)」を具体的に教えていただきました。間をとったり、緩急をつけたり、イントネーションを変えたり…ちょっとした読み方の違いで表現がずいぶん変わることが学びました。そうした学びを元に、子ども達と担任と一緒に練習を積み重ねたことが今回の発表の姿につながりました。

さて、先日立ち寄った書店に、「伝える力」のコーナーがありました。そこには、伝えることの大切さや伝え方の技術などを紹介した本がたくさん並べられてありました。「ビジネスマン必読」だそうです。「伝える力」は、これからの時代を生き抜いていく子ども達にとって、身に付けなければならない重要な力となっています。

本校では、「豊かに伝え合う子の育成」をめざして授業研究に取り組んでおり、「自分の考えを確かな言葉で仲間に伝える」ことを日々の授業の中で大切にしてきました。これからも「伝える力」を高めることができるように指導を重ねていきたいと思っております。

2月、3月には、授業参観や6年生を送る会などの発表の機会があります。「思いを伝えよう」とがんばる子ども達に、さらなる応援をお願いします。

